

## B プリント (プロブレムリスト)

NEJM 勉強会 2016 年度 第 1 回 2016 年 4 月 21 日 B プリント 担当：澤井大和<sup>ゆたか</sup>

### Case 3-2016: A 9-Year-Old Girl with Intermittent Abdominal Pain

(N Engl J Med 2016;374:373-82)

【病歴のまとめ】 ～「変換キーワード」を用いて～

#### ● 腹痛

##### ① 時間 (Onset と Timing)

###### ➤ 発症様式

Sudden?	Acute?	Sub-Acute?	Chronic?
(何時何分何秒)	(数時間～数日)	(数日～数週間)	(月～年)

###### ➤ 再発性 (Timing)

First episode of?	Recurrent?
-------------------	------------

##### ② 部位 (Region と Radiation)

腹痛は解剖学的な位置が重要

##### ③ 性質 (Palliative/Provocative, Quality/Quantity, Related, Severity)

###### ➤ 重症度

Mild?	Moderate?	Severe?
-------	-----------	---------

###### ➤ 性

Man?	Woman?
------	--------

###### ➤ 年齢

Young?	Middle aged?	Elderly?
--------	--------------	----------

「まとめ」を作ったら、診断仮説形成の段階へ (C プリント)

その他【プロブレムリスト】は 2 ページ目に掲載 (ホームページ参照)

## B プリント（プロブレムリスト）

### 【プロブレムリスト】

#### #1 消化器症状

- 腹痛（再発性）
  - O: 4 歳から
  - P: ポリエチレングリコール内服や屈んで腹部を抑えると一時的に改善
  - Q: 成長に伴い、頻度が増加
    - ◇ 4 歳：年に数回 → 8 歳：週に 3-4 回
  - R: 部位は変動している。嘔吐や胸痛・頻脈を伴う。背部へ放散も
  - S: 顔は蒼白になり、発汗し床に倒れる「疼痛発作」
  - T: 間欠的
- 便秘→ポリエチレングリコールの投与で一時的に改善
- 嘔吐（非血性、非胆汁性）
- 嘔気→オメプラゾール投与
  - 朝方には認めない

#### #2 検査所見

- 尿培養：陰性
- ピロリ感染血清検査、便検査：陰性
- 血液検査：次の項目を測定し、全て正常
  - 血算、白血球分画、電解質、カルシウム、血糖、総タンパク質、アルブミン、グロブリン、free T3、アミラーゼ、リパーゼ、腎機能、肝機能
- セリアック病検査（グルテン IgG, IgA 検査か）：陰性
- 腹部レントゲン：(Figure)
  - 非閉塞性の腸管ガス像。特に上行結腸に中等量～多量の便。腸管ガスは正常で、主流による圧排や腹腔内の石灰化所見を認めない。
- 腹部超音波検査：正常
- 上部消化管内視鏡検査：食道、胃、十二指腸の生検結果は正常。



[参考文献] 宮下淳. 病院総合医の臨床能力を鍛える本, カイ書林, 2012.